

兼松日産農林株式会社

1. 会社状況

(本社)所在地	〒103-0007東京都中央区日本橋浜町3-3-2トナレ日本橋浜町6F		代表者名	高崎 賢
電話/FAX番号	03-6631-6600/03-6631-6639		URL	http://www.knn.co.jp/
設立年月	1934年 3月(昭和9年3月)		資本金(百万円)	3,325
売上高(百万円)	12,158		従業員(名)	205
事業内容	①ジオテック事業部:地盤改良工事ならびに各種地盤調査及び沈下修正工事 ②木材・住建事業部:木材の乾式、湿式防腐・防蟻処理加工・販売 ③CCTVシステム事業部:CCTVシステムの販売			
主要製品	①ジオテック事業部:表層改良工法・柱状改良工法・鋼管杭工法・環境パイル工法 ②木材・住建事業部:乾式、湿式防腐・防蟻処理製品、装置及び薬剤 ③CCTVシステム事業部:CCTV; closed-circuit television(セキュリティテレビ)			
東葛テクノプラザ 連絡先	役職名	技術ソリューション部長	氏名	手塚 大介
	E-mail	d-tezuka@knn.co.jp	入居室	406, 407
			電話番号	047-137-3200

2. 東葛テクノプラザにおける研究・事業開発概要

・木材の性能向上に関する研究

木材・住建事業部での研究・開発は、木材の欠点を無くし、付加価値を高めることを目的としている。木材保存処理(防腐・防蟻処理)技術を長年研究しており、古くは木製電柱や鉄道の枕木への保存処理から始まり、現在は建築資材、エクステリア材料、土木用途を対象とした安全で長持ちする木材保存処理薬剤およびその処理装置システムの技術開発を行っている。



3. コア技術(保有技術等)

・乾式防腐・防蟻処理システム

木材の加圧式保存処理は、水溶性の薬剤を用いた湿式処理方法が一般的だが、当社独自の技術として、油溶性の薬剤を用いた乾式防腐・防蟻処理技術があり、特許を取得している。

乾式防腐・防蟻処理は水を使わずに木材の保存処理が可能のため、木材の寸法を変えることなく、防腐・防蟻効果を付与することが可能。

さらに、安全性が高く、薬液の毒性は食塩より低く、シックハウス症候群の原因物質となる揮発性有機化合物は含まれていない。



4. 事業展開

・木材・住建事業部事業展開

近年の公共建築物における木材利用の促進に関する法令施行にともない、公共建築物の木造化が進んでいる。

建築資材として木材が金属やコンクリートの代替えとなるためには、耐久性だけでなく、防カビ性能、不燃(難燃)性能、寸法安定性能等を付与することが求められている。

建築資材としての木材の付加価値を高め、生活に密着した製品や大型公共事業において利用される製品の開発を行う。



特記事項

【認定・受賞】